



市内で活動するNPO法人を訪問しました

4月17日から、市民協働センターのスタッフは市内にある18のNPO法人の活動現場を訪問しました。身近な社会課題の解決に向けて活動しているNPOのみなさんからNPOの現状や課題、今後予定している事業や積極的に展開していきたい活動について話を聞くことができました。

NPO法人災害救助犬静岡は、救助犬の訓練、災害による行方不明者の搜索活動に参加。実際には熱海や熊本に行った際の話や、救助犬についてより知ってもらいたい、災害に備えていくことが重要だと話してくれました。また、NPO法人ベースキャンピングは、障がいのある方の一人ひとりにあわせた計画・訓練を行い仲間と一緒に就労を目指す就労移行支援事業を行っています。より多くの人に活動を知ってもらい、活用してもらおうことで、その人の可能性を広げていきたいと話してくれました。

また、今年の夏もNPO法人と市民協働センターが協働し、中高生が社会貢献を体験する「中高生NPO体験セミナー」を実施します。

参加者募集！きくがわ未来塾

きくがわのまちの魅力を高めるため、自分でも何かしてみたい！地域で活動したい！そう思っている人はいませんか？きくがわ未来塾では、同じように考えている仲間と一緒に、まちづくりのプランを企画し、実際の活動につなげていきます。全4回の講座です。ぜひ一緒に活動しましょう！

第1回 6月21日(水) 第3回 7月26日(水)

第2回 7月12日(水) 第4回 8月9日(水)

各回とも 18:30 ~ 20:30

at プラザきくる3階会議室(菊川市庁舎東館)

対象

まちづくりや地域活動に興味がある方

参加料

1000円(全4回通して)

講師

NPO サプライズ代表 飯倉清太氏

定員

15名

氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、職業を記入の上、メール、FAX、申込みフォーム(QR)から申込みください。



申込み&問合せ 菊川市市民協働センター
メール / kikucen1@sage.ocn.ne.jp TEL・FAX / 0537-35-2220

プラザきくる周辺賑わい創出



静岡大学の学生が視察に訪れました

4月1日、元地域おこし協力隊のコーディネートで、静岡大学地域創造学環の学生が来館。市民協働センターの活動を紹介し、昨年高校生まちづくりスクールに参加した大学生との交流する機会にもなりました。



菊川まちづくり部ミーティング

4月8日、第2回ミーティングが行われました。メンバーたちは若者にとっての地域課題を話し合いました。今後は若者のスペース、自然環境、観光、駅前の活性化の4つのテーマでチームになり取り組んでいきます。



5/28 日	6/4 日	ゼロから学べるファシリテーション (連続2回講座) 13:30~16:30 プラザきくる3階 会議室 参加費:各回500円	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
6/1 木		ランチミーティング 12:00~13:00 市民協働センター 参加費:500円(昼食代)	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
2 金		赤堀愁寄席 in 菊川文化会館アエル 19:00~20:30 菊川文化会館アエル 和室 参加費:1,000円(お茶菓子付き)	主 TOMO☆PROJECT 申 0537-29-8387
11 日		第1回 高校生まちづくりスクール (全5回) 9:00~15:00 プラザきくる3階 会議室 参加費:無料	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
13 火		ひろまちコラボ ~ごみを拾い、まちを広げる~ 7:30~8:00 きくる広場(プラザきくる東側公園) 参加費:無料	主 きくがわ未来会議 問 0537-35-2220 (市民協働センター)
17 土		だれでも食堂 テイクアウト ※雨天決行 11:00~無くなり次第終了 龍雲寺 無量殿(西方3780-1) お菜銭:100円	主 きくがわだれでも食堂 問 0537-35-2939 (龍雲寺 村松)
21 水		第1回 きくがわ未来塾 (全4回) 18:30~20:30 プラザきくる3階 会議室 参加費:1000円(学生無料)	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
24 土		多文化共生講座:世界の食の風景から考える「しあわせ」 14:00~16:00 プラザきくる1階 和室 参加費:500円(学生100円)	主 つながる菊 Café プロジェクト 申 tunagarukikucafe@gmail.com

菊川びとにインタビュー

松川ルシアナさん Sra. Luciana Matsukawa



ブラジル出身の日本人の日系3世で、30年前に来日しました。当時、日本に住むブラジル人の多くが夜遅くまで働いていることを知り、一人で家にいる子どもたちのために家庭教師を始めました。その後ブラジル人コミュニティが広がったことでブラジル人学校(Colégio Nippo- Objetivo de Kikugawa)を設立。多くの生徒たちは卒業後も日本で働くことを希望していますが、日本語が話せないため将来の選択肢が限られています。「今後、子どもたちと地域のイベントに積極的に参加することで、日本の文化や日本人とつながるきっかけをつくっていきたい」と話してくれました。▶次回は、お茶の栗田祐之さんです。

レポート

若者とシニアのおしゃべり会



4月3日、「若者とシニアのおしゃべり会~きくがわ全市民ヒーロー化計画~」が市民協働センターで開かれました。きくがわ未来塾2022へ参加した松田真和さんと高木宏充さんが、「誰もが自分らしく生きられる地域社会」を目指して企画。地域医療を守る会と協働センターから声掛けした12名が参加しました。若者とシニアがペアになり、菊川の好きなお店、自分の興味や趣味、日常生活、将来の夢などを語り合うことで相手の気持ちや価値観を知り、お互いを尊重する貴重な機会になりました。参加者は「世代を超えて楽しく対話できた」などの感想を話されました。詳細は Instagram@kikugawa_heroes